



の園だより



2024.6.3発行
社会福祉法人 楳の会
児童発達支援センター
ぎらめきの里

『ぎらめきママの子育てサポート講座』は、今年度から公認心理師の大山が担当します。各クラス毎に年間6回、お父さんや親御さんの経験やニーズに合わせて、子育てと『好事作り』の話をさせていただきます。受け止め代弁してもらい、認め褒めてもらい、安心と満足感を得る経験を積み重ねたお子さんは、必ず健やかに成長していきます！！

今月のエピソード ★先生たちのママ達へのモデル提示★

★給食後、歯磨きをしたくなくて窓枠に登っていた A くん。ママは「歯磨きしないとホール行けないよ」と声をかけています。担任がオーバーリアクションで「あ！A くんのお口の中にバイキンマンが沢山いる！」と驚いて見せると、直ぐに A くんは窓枠から降りて「アンパンマン！」と言って、歯磨きをしてほしいとママに伝えました。

※オーバーリアクションで気持ちをこちらに向けた上で、A くんのお興味が向きやすい言葉やキャラクターを使って行動を促すと、楽しく気持ちを切り替えることができますよ、とお母さんにお伝えしました。

★外遊びが楽しいのタイミングで、シャボン玉のホイ（輪）を片付けたくないと泣いていた B くん。ママが「シャボン玉お片付けだっ。楽しかったね」と声をかけても B くんは納得できていない様子。



担任は紐のついた風船を提示し「この風船は B のだから、B が持ってくれる？お願い！」と伝えると、納得して風船を持つためにホイを片付けることができました。

※片付けたくない場面では「これならいいよ」と代替品を用意して提案すると気持ちを切り替えられることとお母さんは持っていないから、これ持ってくれる？」と B くんにお願ひしたり頼ることで、気持ちが切り替えられることもあるので、声掛けの工夫を取り入れるといいですよ、とお母さんにお伝えしました。

佐川 ゆり

★給食ではあまり野菜を食べず、ママが食べさせようとしても「やだよー」「お母さんが食べていいよ」と言って拒否している C くん。パンをモリモリ食べていたので「いっぱい食べてすごいね！」と担任が褒めると、人参に関心を示したので、すかさず「人参も食べるの？すごい」と声をかけると一口食べました！そこで、さらに褒めると C くんは人参を全部食べてしまいました。そしてその後も、ジャガイモ、鶏肉も食べ、初めてシチューを完食できました。



※C くんは、今、褒められることが嬉しくて食べようとする気持ちになることをお母さんと確認し、どんどん認めて褒めて C くんのお意欲と自信に繋げてあげましょうとお伝えしました。

★クラスの窓からバスが見えると、椅子に登ってバスを見たがる D くん。危ないのでそばに付いていますが、朝の会や活動の時もバスを見たがる日が続きました。そこで、大好きな赤バスの写真カードを渡してみると D くんは満足した様子で、写真を持つと活動にも参加することが出来るようになりました。また、エアポリンが苦手で、ママに抱っこされても乗ることができなかったため「バスの写真を持ってエアポリンに乗ってみよう」と担任は声をかけてみました。D くんは、バスの写真を持ちながらママに抱っこされてエアポリンに乗ることができ、その後、1人でエアポリンに座ることもできました！



※「これならいいよ」という代替品で満足を作って気持ちを切り替えたり、「これがあれば大丈夫」という心の杖・安心グッズを利用して、安心を作り療育に活かしていきましょうとお母さんにお伝えしました。

漆館いずみ